

作成日 2024 年 4 月 1 日

更新日 2026 年 3 月 24 日

営業時間：月～金 10：00～19：00

土・祝・長期休暇 9：00～18：00

送迎実施 有 ・ 無

熊本市西区と周辺地域

らしくく支援プログラム 【発達支援 5 領域】

法人理念

当法人は、ご利用者様の人間の尊厳の保持、利用者様の立場に立った質の高いサービスを提供するとともに、地域福祉・地域経済を推進し、全ての人が思いやり支え合いながら、その人らしく共に生き、共に発展する社会実現のために貢献します。

① 利用者様、お客様本位の良質かつ適切なサービスの提供

常に利用者様、お客様の立場に立って考え、人権擁護、利用者様及びお客様への質の高いサービスの提供を求めることを目指します。また創意工夫し、社会環境の変化や地域ニーズに即応できるように新たな事業展開へ挑戦します。

② 地域福祉・地域経済の推進

幅広い関係者と連携・協働し、サービスを必要とする人が、地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化そのほかあらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるよう、地域福祉・地域経済の推進に努めます。

③ 人材育成と働きがいのある職場づくり

計画的な人材の育成に努め、法人経営と質の高いサービスの提供を担う「思いやる心、高い専門性、強い責任感と謙虚な心を持ち、発展向上する人材」の育成へ努めます。常に探究心を持ち、情報と衆知を集め、質の高いサービスを求める「研究する組織」を目指します。

④ 信頼される組織運営と経営基盤の安定・強化

当法人は、公共性の高い組織であるということを自覚し、全ての職員が高いコンプライアンス意識をもってサービス提供に当たることで、地域の信頼に応えるよう努めます。また、施設事業ごとの経営分析に基づく経営改善、事業継続に必要な積立金等の計画的造成、人材育成における各職制で必要な経営意識の醸成等によって、サービスを将来に渡って安定的に提供し続けるための体制を強化し、地域一員団体としての使命を果たすよう努めます。

事業所理念

成長過程にある子どもたちにとって 5 領域を含め、日々の中に散らばっている「経験」「体験」は、非常に重要です。

らしくくでは、子どもたちのもつ興味や好奇心を大切にしながら、子どもの時にしか感じることでできないドキドキやワクワクをたくさん経験できるようにしていきたいと考えています。

らしくくでの過ごし方が、社会性を広げていくための学び、気付きとなり、子どもたちの健やかな心身の成長につながるきっかけとなれるようサポートを行っていきます。

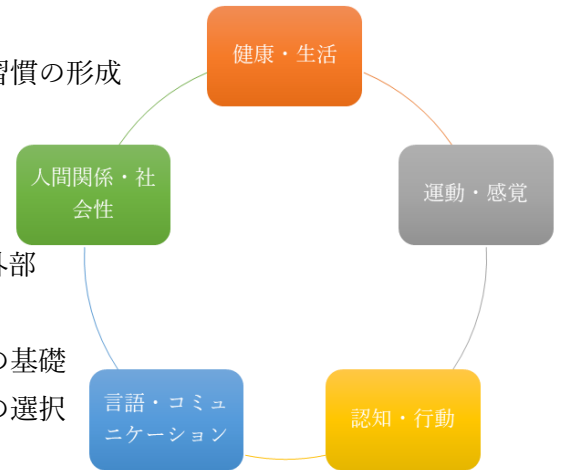
またらしくでは、下記の支援プログラムを軸に「子どもが子どもらしく、楽しいを全力で感じられる場所、そして特別を感じられる場所」にしたいと日々考えながら子どもたちと関わらせていただきます。

ただ、子どもたちにとっての自由や遊びは一番に大切にしながらも、自由で楽しければそれでいい！とは思いません。やはりメリハリは大切です。伝えなければならないことはきちんと伝えていきながら、子どもたちが将来を生き抜く知恵を学ぶ時間となるように、そして子どもでいられる本当に短いこの大切な期間に私たちが携わらせていただけることに感謝しながら、「子どもたちに記憶に残る放課後を、子ども時代を。成長してから思い出すその風景が素晴らしいものであるように...。」そういった理念・想いを掲げ、子どもたちと関わっていきたいと思っています。🌱🌱

本人支援の内容



らしくの活動を通して楽しみながら5領域を体得できるよう支援を行っています。






- ① 健康・生活 … 健康状態の把握、生活リズムや生活習慣の形成
- ② 運動・感覚 … 姿勢と運動、動作の向上、保有する感覚の統合的な活用
- ③ 認知・行動 … 認知の発達と行動の習得、数や空間時間などの概念形成の習得、対象や外部環境の適切な認識と行動の習得
- ④ 言語・コミュニケーション … コミュニケーションの基礎的能力の向上、手段の選択と活用
- ⑤ 人間関係・社会性 … 他者との関わり（人間関係）の形成、自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加



らしく支援プログラム

- ① 健康・生活 ② 運動・感覚 ③ 認知・行動 ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性
* 「ねらい」の()内は主に係る領域

プログラム	ねらい	内容
犬のお世話 	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物に触れるという周りとの共有した活動を通してコミュニケーションを図る。(④⑤) ・生き物との触れ合いを通して、客観的な視点をもつ。(⑤) ・責任感が生まれる。(⑤) ・話せない動物の気持ちを察することで優しさが育つ。(④⑤) 	動物との触れ合いを通して、ストレスの緩和、リハビリ効果（抱く、なでる、話しかけるなどの動作を通して機能の弱まった四肢や言語への効果）、社会性の向上、自尊心・自立心の向上など様々な効果が得られるとされています。 例) 触れ合い、散歩、ご飯、お水やりなどお世話全般
公園遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ・好奇心や探求心が育つ。(①③⑤) ・季節を感じる。(①③) ・五感を刺激する。(②③) ・友だち同士で遊んだり、地域の人と関わり合いをもつ。(④⑤) ・適度な運動を通して、体力を身につけ、健康的な生活につなげる。(①②) ・ルールのある遊びを通して、コミュニケーションを学ぶ。(④⑤) 	公園までの道中は、交通ルール等も意識しながら学習できる機会を設けます。公園では、個人での運動、または集団でのスポーツ遊びなど適度に体を動かしながらリフレッシュの時間にもなるようサポートしていきます。 例) ウォーキング、遊具、ドッジボールなどの球技遊び、鬼ごっこなど

プログラム	ねらい	内容
ビジョントレーニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・眼球運動トレーニングを通して、見たいものに素早くピントを合わせる能力を向上させる。(②③) ・視空間認知トレーニングを通して、眼で見た物の形や色、対象の物に対しての距離感を正しく認識する機能を鍛える。(②③) ・目と脳をつなげるトレーニングで、眼から入った情報をもとに体を動かす働きを鍛える。(②③) ・五感を刺激する。(②③) ・成功体験を増やす。(③⑤) 	眼の諸機能を鍛えることによって脳を活性化させるとともに、集中力・判断力・情報処理能力など様々な能力を高めていきます。 例) ボールシュート、ボールキャッチ 線や形の認識として、ジオボード、ペグボード、知育プリントなど 微細運動、粗大運動
コーディネーショントレーニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・体の動かし方や動かす楽しさを知る。(②③) ・ルールのあるトレーニングを通して、仲間との協力を経験する。(④⑤) ・勝ち負けなど気持ちの切り替えを学ぶ。(④⑤) ・運動を通して、日常生活の中での動作もスムーズにし、健康面の向上とともに生活の質を向上させる。(①②) ・五感を刺激する。(②③) ・成功体験を増やす。(③⑤) 	さまざまな動き、体を動かすことで脳と神経を刺激し、自身の運動能力を総合的に伸ばしていきます。コーディネーション能力には7つの能力があり、定位能力、反応能力、バランス能力などそれぞれが個で働くのではなく、いくつかの力がお互いに連動して、体を動かしています。トレーニングを通して、体力、能力の向上につなげていきます。 例) スピードリング鬼ごっこ、ボール当て、色マーカー陣取り、棒倒しなど
作業(お仕事)体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業準備性ピラミッドをもとに作業体験を行っていき、土台作りを行う。(①③④⑤) ・仕事をするにあたって体調面の管理を考える。(①) ・挨拶、返事、身だしなみなど社会人になるための基本的マナーを習得する。(①③④⑤) ・お仕事体験を通して、大変さや責任はもちろん、やり遂げることでの達成感や楽しさを知る。(⑤) ・卒業後の進路を考えるきっかけとなる。(⑤) ・手指の巧緻性を高める。(②③) ・指示理解の向上。(③④⑤) 	併設する就労継続支援の事業所とも連携をとり、就労準備トレーニングを行っていきます。就労準備性ピラミッドをもとに作業体験では、対人スキル、基本的労働習慣、職業適性を学べるようサポートしていきます。ピラミッドの土台となる日常生活管理、心と健康の管理などはその他、らしくでのプログラムを併用しながら総合的に身につけられるようにしていきます。またこれらの支援を通して、校内実習や現場実習などに向かう子どもたちを支える役割も担っていきます。 例) シール貼り、箱作り、チラシの折り込み、袋詰めなど軽作業全般
アナログゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の感情や表情を読み取る。(③④⑤) ・ルールのあるゲームの中で周りとのコミュニケーションを図る。(④⑤) ・ルールの遵守。(⑤) ・カードや駒などめくったり、つまんだり、手指の感覚を高める。(②③) ・ゲームの中で、言葉や数字に触れることで、語彙力の向上、数字に対する概念を形成する。(③④) ・楽しさや悔しさを友だちと一緒に共有する。(④⑤) 	アナログゲームを通して、一人の世界ではなく、直接友だちと関わり、一緒にゲームを進める、楽しむ機会を作ります。デジタルゲームも良い部分はありますが、アナログゲームの相手の表情を見ながらの直接的な関わり、コミュニケーションが子どもたちの成長に大きくつながるものだと考えています。ルールやマナーはもちろん、ゲームを通して相手への思いやりなどを同時に学べるようにサポートしていきます。 例) トランプ、人生ゲームなどのボードゲーム、戦略ゲーム、数字ゲーム、図形、マークの認知など
手指トレーニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・集中力を高める。(③⑤) ・物の正しい扱い方を学ぶ。(②③) ・手先の巧緻性を高める。(②③④) ・トレーニングを通して、考える力を身につける。(③) ・意図をもって手を動かす。(②③) 	指先は、子どもの発達に大きな影響を与える器官であると言われていています。手指の動作は脳と非常に深い関係にあり、手指を使うことは脳や神経の発達に効果的です。巧緻性を育むことで、大脳を刺激し、「運動能力」「思考力」「コミュニケーション能力」「記憶力」などを活性化していきます。 例) カードめくり、ビー玉移し、絵柄のマッチング、洗濯ばさみ、ひも通し、はさみなど

プログラム	ねらい	内容
室内運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を通して、適度に体力、気持ちを発散する機会にする。(①②) ・チームスポーツの中で、自分の役割を考える。(④⑤) ・チームスポーツの中での振る舞いを考える。(④⑤) ・協力を体験する。(④⑤) ・「〇〇しながら××する」など手足や必要な用具、ボールを視覚と連携させて正確に扱う能力を高める。(②③) 	<p>定期的な運動を取り入れながら運動不足の解消、また心身の調和を作り出し、健康的な体と心をつくり基礎体力の向上につなげていきます。また運動の種類によっては、日頃から練習してきた成果を試せる機会として、〇〇大会などを定期的に企画し、大会に向けての練習も行いながら周りとの協調性、勝負の意味、また結果だけでなく、そこに行きつくまでの努力工程、達成感などを味わえるようにサポートしていきます。</p> <p>例) 縄跳び、卓球、ダンス、風船バレー、風船テニス、モルック、4 ポイなど</p>
作品作り・制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・その時期の制作物を取り入れ、季節を感じられるようにする。(①③) ・物を正しく、大切に扱うことを学ぶ。(②③) ・達成感を感じる。(⑤) ・モノづくりの楽しさを感じる。(⑤) ・完成品を目指し、思考力を働かせる。(⑤) ・作品を作ることでの楽しさや面白さから集中力が身につく。(③⑤) ・手先の巧緻性を高める (②③④) ・作品を作り上げることで、成功体験となり自信につながる。(③⑤) ・作品作り、制作を通して創造力が広がる。(③⑤) 	<p>その時のテーマに沿いながら自分で好きな作品制作に取り組んでもらったり、決められた制作活動に取り組んでもらったりしながらモノづくりを楽しみます。自由な発想、創造性、または細かい作業による手指のトレーニングとなるようサポートを行っていきます。</p> <p>子どもたちの作った作品を年に一度作品展という形で、事業所に展示し、子どもたちの頑張りを保護者の方たちにも見ていただける機会を作ります。同時に保護者同士の交流の場ともなるようにしていきます。</p> <p>例) ビーズ、切り絵、貼り絵、デジタルアート、手芸、ダンボール制作など</p>
子ども会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意思を発表する。(④⑤) ・相手に伝わる表現の仕方を学ぶ。(④⑤) ・次月のやりたいこと、行きたいところなど自分で考えることで楽しみをもつ。(⑤) ・自分の意見が認められることで、自己肯定感を育む。(③⑤) ・司会進行をする。(④⑤) 	<p>月に一度、子ども会議として会議を開き、次の月に行きたいところ、やってみたいこと、作ってみたいものなど自分の思いや考えを伝える場を作ります。全部が全部その通りになることばかりではないですが、自分の伝えたことが実際に実現した時の嬉しさや自分の意見を発表し、伝えるということの重要性を学べる機会になるようサポートしていきます。</p>
体験活動・外出行事 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの時にしか感じることでできないドキドキ、ワクワクをたくさん感じる。(②⑤) ・外出を通して季節の変化を感じる。(①③) ・地域とのつながりを感じる。(⑤) ・公共のマナーやルールを学ぶ。(①⑤) ・集団行動を学ぶ機会となる。(④⑤) ・自立心を高める。(⑤) ・体験の中での個々の気づきや学びが、自分の視野や世界を広げるきっかけとなる。(③⑤) ・「0」が「1」になる経験を増やす。(①③⑤) 	<p>土曜日や祝日、長期休暇時には体験活動、外出行事などを多く取り入れ、集団行動、社会的マナー、公共でのルール、過ごし方などを学ぶのはもちろんのこと、友だちと一緒に出掛け、共に遊び、楽しみながら子どもの時にしかできない、感じることでできない経験をたくさんして欲しいと思っています。らしくて来ることで、家族や親戚とはまた別に大人、友だち、色々なつながりを結び、子どもたち一人ひとりの将来の糧となるよう努めてまいります。</p>

家族支援

○保護者に寄り添いながら想いを聞いていきます。

様々な家族の形があることを理解しながら話をしていくことを大切にしていきます。送迎時のコミュニケーションはもちろん、場合によっては電話連絡、面談等の時間を設けながら話せる時間を確保していきます。お互いに家、学校、事業所の子ども様子を共有できるようにしていきます。

○利用している児童だけでなく、兄弟間や家庭での出来事もニーズによって対応していき、協力体制

を整えていきます。

○必要な情報を提供していきながら、子どもについて一緒に考えていきます。事業所での関わり方なども伝えていきながら家庭の中での取り組みにもつながるようにしていきます。

○年に一度、行事の中で子どもたちの作品展を開催し、保護者同士が交流できる機会を提供していきます。

移行支援



○学校とも定期的に連絡を取り合い、対象児童の状況をお互いに共有できるようにしていきます。場合によっては、会議等も開催し、課題解決に向けて協力体制を築いていきます。

地域支援・地域連携



○行事等の中で、公共施設の利用を行っていきながらルールやマナーの習得を目指します。

○地域の関係機関とつながりを持ち、支援に対する視点の多角化を意識していきます。

【つながる関係機関の例】

- こども家庭センター
- 保健師
- 学校、スクールソーシャルワーカー 等
- 放課後児童クラブ
- 他事業所(放D)
- 児童相談所
- 相談支援事業所
- 病院
- ショートステイ、日中一時事業所 など

職員の質の向上に資する取り組み



○年間の研修計画を作成し、実施していきます。

○定期的にミーティング、会議等を開催していき、日々の支援についての質の向上につなげていきます。

主な行事など



○年間行事計画を立てます。

例)

月	年間行事
4月	・お花見
5月	
6月	
7月	・七夕
8月	・スイカ割 ・そうめん流し ・プール ・電車の旅
9月	お月見
10月	・ハロウィン
11月	・もみじ狩り ・みかん狩り予定 ・秋祭り
12月	・クリスマス ・大掃除 ・みかん狩り予定
1月	・初詣 ・正月遊び ・作品展・写真展
2月	・バレンタイン ・節分
3月	・卒業式